

川 又 由美恵 議員



- 1 (一般質問)
- 1 西条市合併20周年記念事業について
- 2 海業の推進について

間及び体制をどのように考えているのか。

答

本市は令和6年11月に合併20周年を迎えることから、これを契機とした記念事業の実施を現在検討している。

合併20周年記念事業の実施に向けた考えは？

問 本市は平成16年11月1日に合併し今年で19年となる、記念すべき節目の年である。

合併10周年記念事業では、市民がともに祝い、喜びを分かち合い、更なる市民融和と郷土愛を醸成する事業として実施された。

合併20周年記念事業を実施することを前提とした上で、合併により有することになった、西条のよさ、魅力、パワーなどを積極果敢に情報発信するために、実施方針、期

このたび、合併から20年の節目を迎えるに当たり、本市がこれまで進めてきた取組を高めつつ、20周年記念を地域の全てのかたがたで祝い、楽しめる記念事業に意欲的に取り組み、市内外に本市を広く発信するとともに、本市の更なる融和と発展につなげていきたいと考えている。

事業の実施に当たっては、「合併20周年をみんなで祝い楽しむ事業。人と人との絆をつむぎ深める事業。まちを知り好きになる事業。人と自然を大切にする事業。」の4つを実施方針として検討したいと考えている。

また、この数年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、市内においても行事やイベントの開催が見送られるなど、人との交流の機会が失われてきたが、今回の記念事

業を通して、行事やイベントを開催し、人と人とのつながりを再構築していきたいと考えている。

記念事業の実施期間は、合併20周年を迎える令和6年度の1年間を想定しており、令和6年11月1日の記念日を中心に、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間に事業を実施したいと考えている。

記念事業の実施体制については、現在、総務部総務課において担当しており、記念事業の調整・検討を進めている。なお、記念事業の概要案などについては、適切な時期にお示ししたい。



合併10周年記念イベント 平成26年11月1日

産業の活性化に向けた海業(うみぎょう)の推進を!

問

漁村の人々が漁港の水域や用地など、地域資源の価値や魅力を活用して、所得機会の増大などを図る海業の取組が全国各地で加速している。

漁業から海業に移り行くとして今、海業推進についてどのように認識しているか。また、漁港を活用した今後の取組について、どのように考えているか。

答

海業の推進については、令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁

港漁場整備長期計画において、漁港を海業に利用するためのしくみを検討すると明記されており、海や漁村の地域資源と漁港施設を最大限に活用した海業の取組をいっそう推進することで、漁業と相互に補完し合う魅力のある産業を育成し、地域の所得向上と雇用機会の確保ができるようになるものと認識している。海業を推進することで漁村



漁村文化や地域資源を活用した取組に期待

の活性化を創出し、地域の所得向上と雇用機会の確保が可能となることから、先行事例である令和5年3月に選定された愛南町ほか11件の海業振興モデル地区を調査・研究して参りたい。

今後5年間に河原津漁港がモデル地区に選定されるためには、主体となる事業者がリーダーシップを発揮し、地域の理解と協力の下、関係機関、関係団体と連携していくことが必要不可欠である。本市としては、地域資源と漁港施設を最大限に活用した海業の取組ができるよう、側面支援をして参りたいと考えている。